

令和4年度 学校関係者評価報告書

公益財団法人積善会 積善会看護専門学校 学校関係者評価委員会は、令和5年8月2日（水）に「令和4年度自己点検・自己評価報告書」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下の通り報告します。

令和5年8月14日
公益財団法人積善会
積善会看護専門学校
学校関係者評価委員会

1 学校関係者評価委員会

<評価委員> (3名)

- ・本校講師（担当科目：保健医療論）
- ・実習病院 看護部長
- ・本校卒業生

<学内> (6名)

- ・積善会看護専門学校 校長
- ・積善会看護専門学校 事務長（学校関係者評価委員会 委員長）
- ・積善会看護専門学校 教務主任（自己点検・自己評価委員会 委員長）
- ・積善会看護専門学校 専任教員（自己点検・自己評価委員）2名
- ・積善会看護専門学校 事務員 1名

2 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
I 教育理念・目標	・特に問題なし
II 学校運営	・司書については、書籍の所蔵数や学生数から配置が難しいと考えるが、県の人材ボランティアや市の図書館に相談してはどうか。 学生の8割は満足して利用しており、インターネットでの文献検索、卒業生も自由に使用できることは評価できる。
III 教育活動	・3年生の実習が年内に終了しない場合は、学内での対応を検討してはどうか。 ・国家試験の合格率は全国平均を上回っているため、ホームページでアピールした方が良い。 ・教職員に対する職場内研修は、8月にも実習があるため、全員が集まるのが難しければ、オンラインなど形式を変えて参加や視聴する方法を検討してはどうか。
IV 学生支援	・特に問題なし

V 学生の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> • 少子化や大学への進学希望の増加により、専門学校全体で受験生の確保が困難となっている。本校でも受験生確保は大きな課題である。 • 学校の強みをもっと具体的にアピールすることを勧める。 • PR 方法として TikTok 等の動画配信は有効的である。教員も参加するとより学校の雰囲気伝わりやすい。
VI 国際交流・地域社会	<ul style="list-style-type: none"> • 特に問題なし
VII 研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> • オンライン研修を受けてはいるが、教員としてスキルアップができる研修を積極的に受講する必要がある。

< 総評 >

学校の教育目標が高いところにあるのは評価できるので、学校の活動や様子をオープンにするとよい。学校の強みをもっと具体的にアピールしていくため、情報の発信方法や手段を改めて検討してはどうか。また、学習に意欲的に取り組み、さらに学校のPRにもなるような環境づくりにも力を入れてほしい。